

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

★ 今月の事故 ★



1. 事故の概要（就業中）

今月は「1ヵ月～6ヵ月未満の入院及び後遺症の事故」のうち、剪定作業（就業中）における事故が7件ありましたが、そのうち、慌てて三脚から飛び降りたり、石垣から飛び降りたりしたために、踵（かかと）を骨折した事故が3件ありました。

【事故①】三脚に乗って個人宅の剪定作業をしていたところ、バランスを崩して落ちそうになり、あわてて三脚から飛び降りたが、着地した地面が土の部分ではなく、石（コンクリート）の部分であったため右足の踵を強打した。地面がぬかるんでいたこともあり、三脚も多少ぐらついていた。右足踵骨折のため入院し約5ヵ月後に退院した。

【事故②】個人宅の剪定作業時に三脚を設置した際に、三脚の上部に枝が引っかかっていたので、三脚に4段程登って、その枝を切った。その反動で三脚が動きバランスを崩してしまったため慌てて飛び降りたが、その後両足に痛みを感じて動けなくなってしまった。両足踵の複雑骨折により入院し、入院後4ヵ月が経過したが現在も入院中である。

【事故③】個人宅の剪定作業中、自身の身体能力を過信して段差1m程の石垣から飛び降りた際に、両足踵を骨折した。約1ヵ月間入院した後、一度退院して約1ヵ月間リハビリを行ったが再度入院し、現在も入院中である。

2. 事故の原因

【事故①】三脚を適切な角度で設置せず、少し狭い角度で設置したこと。地面にぬかるみがあり、三脚がぐらついているにもかかわらず敷板等を設置しなかったこと。三脚を設置していた場所に石（コンクリート）があり、飛び降りた場合に危険な場所に三脚を設置していたこと。

【事故②】三脚を正しい場所に設置せず、また、三脚が安定した状態であることを確認しないで、三脚に登って作業を行ったこと。

【事故③】自分の身体能力を過信して、段差1m程の石垣から飛び降りてしまったこと。

3. 再発防止策

【センター】

【事故①】植木班長会議の中で報告し、注意喚起を図った。また、安全パトロール中に口頭で周知、注意喚起を図った。

【事故②】安全研修会において報告し、注意喚起を図った。

【事故③】安全・適正就業委員会において安全委員に報告するとともに、剪定班、草刈班、公園管理班の各班長にも報告し、注意喚起を図った。

【連合本部】

【事故①】三脚等の設置について留意すること及びセンター内で事故情報を共有することを指導した。

【事故②】事故分析及び事故の再発防止策の周知徹底とともに、安全就業のモットー「すべての災害は防ぐことができる」を基に会員に対して指導するよう指導した。

【事故③】センターの会員全員に対して、事故の発生原因及び再発防止策の説明を行い、安全就業を徹底するよう指導した。

4. 全シ協から

剪定作業において三脚を設置する場合は、作業する場所の周りの状況をよく確認してから設置してください。三脚に登り低い場所で作業をしても、バランスを崩して足から飛び降りて着地すると踵を骨折しやすくなります。

また、高齢者は、階段を1、2段踏み外すくらいでも踵骨折を起こすことがありますので、まわり道をすると遠くなるからといって飛び降りたりせず、所定の降りる場所から安全に降りるようにしてください。もしくは足場や脚立を用意して降りるようにしてください。

高齢者の踵骨折は複雑骨折になり易く、歩行時痛、坂道や凸凹道等の安全歩行が困難になり、また、長時間の立位が困難になることから高所での作業が不可能となります。入院期間が長期間にわたることが多く、また、後遺障害を残すことも多いことから、退院後に通常の生活に戻ることが困難になりますので、くれぐれも気をつけてください。

令和2年12月（令和2年度）事故速報

(1) 重篤事故

12月は、2件の重篤事故報告がありました。

12月までの累計で比較してみると、令和元年度の25件と比して令和2年度は28件と3件増加しています。

また、就業中・就業途上別にみると、就業中では令和元年度の12件と比して20件と8件の増加となっており、就業途上については、令和元年度の13件と比して8件と5件の減少となっています。ただ、いずれにしても死亡事故件数は増加しています。

12月報告分までの累計

令和2年度累計	就業中・就業途上	件数	内 訳				令和元年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	20(1)	10(1)	10(0)	20(1)	0(0)	就業中	12	8	4	11	1	
就業途上	8(1)	7(1)	1(0)	4(1)	4(0)	就業途上	13	6	7	11	2	
計	28(2)	17(2)	11(0)	24(2)	4(0)	計	25	14	11	22	3	

↳ 対前年度比 112.0%

()は、当月報告分です。

12月報告分内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全帽	安全帯	交通手段
27	男 84歳	就業中 (死亡)	17時過ぎに、公園のカギ閉め作業を行っていた際、公園内の水路にゴミが捨ててあったため拾おうとして水路に足を入れたところ転倒し、頭部を地面に打ち、右頬部分の骨折及び前頭骨骨折、額への創傷、右手首の複雑骨折を負った。倒れているところを通行人が発見し救急搬送されたが、1ヵ月後に死亡した。	—	—	—
28	男 83歳	就業途上 (死亡)	午前8時頃、自宅からバイクで就業先へ向う途中、信号のない交差点で乗用車と出会い頭に接触して転倒した。意識不明の状態で見送られたが、入院2ヵ月後に死亡した。	—	—	バイク

(2) 1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

12月は、就業中の事故14件、就業途上の事故6件と、合計20件であり、前年同月の39件と比して19件の減少となっています。また、男女別では、男性は12件の減少となっており、女性は7件の減少となっています。

12月までの累計で比較してみると、昨年度の205件と比して、本年度は185件と20件の減少となっています。就業中・就業途上別にみると、就業中は137件で16件の減少となっており、就業途上は48件で4件の減少となっています。男女別では、男性は142件で4件の増加となっており、女性は43件で24件の減少となっています。

令和2年度12月分

	仕事の内容	事故数 (件)		男性 (件)		女性 (件)		平均年齢(歳)		
		12月	累計	12月	累計	12月	累計	12月	累計	
就業中	植木・樹木の剪定等	7(11)	60(62)	7(11)	59(61)	0(0)	1(1)	74	73	
	除草作業	3(7)	24(25)	3(6)	20(18)	0(1)	4(7)	79	73	
	屋内・屋外清掃作業	1(3)	28(30)	1(1)	14(14)	0(2)	14(16)	75	77	
	その他	3(10)	25(36)	2(7)	19(24)	1(3)	6(12)	79	74	
	計	14(31)	137(153)	13(25)	112(117)	1(6)	25(36)	76	74	
就業途上	交通手段	徒歩	1(3)	14(14)	1(0)	7(4)	0(3)	7(10)	62	73
		自転車	4(3)	25(26)	2(3)	17(13)	2(0)	8(13)	74	76
		バイク	1(2)	7(9)	1(1)	4(2)	0(1)	3(7)	73	74
		自動車	0(0)	2(3)	0(0)	2(2)	0(0)	0(1)	—	77
		計	6(8)	48(52)	4(4)	30(21)	2(4)	18(31)	72	75
合計		20(39)	185(205)	17(29)	142(138)	3(10)	43(67)	75	74	

()は令和元年度同月の発生件数

「シルバー人材センター団体傷害保険に係る事故件数等報告書」については、事故の有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出願います(平成30年4月24日付 事務局長通達により通知済)。

※ シルバー団体傷害保険の支払いが確定した事故については、速やかに「シルバー団体傷害保険に係る事故件数等報告書」により報告し、報告漏れがないよう願います。

(3) シルバー派遣事業における労働災害報告の事故（休業1ヶ月以上）

10月は合計11件であり、前年同月の11件と同数となっています。また、男女別では、男性は2件の減少となっており、女性は2件の増加となっています。

10月までの累計で比較してみると、昨年度の66件と比して、本年度は60件と6件の減少となっています。男女別では、男性は35件で6件の減少となっており、女性は25件で同数となっています。

なお、10月に死亡事故はありませんでした。

令和2年度10月分

	仕事の型（中分類）	中分類 コード	事故数（件）		男性（件）		女性（件）		平均年齢（歳）	
			10月	累計	10月	累計	10月	累計	10月	累計
業 務 災 害	建築・土木・測量技術者	9	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	—	—
	社会福祉の専門的職業	16	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	—	—
	一般事務の職業	25	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
	商品販売の職業	32	0 (0)	1 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (2)	—	70
	家庭生活支援サービスの職業	35	3 (0)	5 (1)	1 (0)	1 (1)	2 (0)	4 (0)	69	67
	介護サービスの商業	36	0 (0)	3 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)	—	70
	生活衛生サービスの職業	38	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	—	74
	飲食物調理の職業	39	0 (1)	1 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (5)	—	78
	接客・給士の職業	40	0 (0)	0 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (4)	—	—
	施設・ビル等の管理の職業	41	0 (1)	0 (2)	0 (1)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	—	—
	その他のサービスの職業	42	0 (1)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (3)	—	69
	農業の職業	46	0 (1)	1 (1)	0 (1)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	—	77
	生産設備制御・監視の職業	51	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
	製品製造・加工処理の職業	54	0 (0)	4 (2)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	4 (0)	—	71
	機械整備・修理の職業	60	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
	自動車運転の職業	66	0 (0)	1 (2)	0 (0)	1 (2)	0 (0)	0 (0)	—	70
	建設の職業	71	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	—	—
	運搬の職業	75	0 (1)	2 (5)	0 (1)	2 (5)	0 (0)	0 (0)	—	67
	清掃の業務	76	3 (3)	13 (10)	2 (3)	8 (7)	1 (0)	5 (3)	68	73
	包装の職業	77	0 (0)	1 (2)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (1)	—	68
その他の運搬・清掃・包装等の職業	78	5 (3)	26 (21)	4 (3)	20 (14)	1 (0)	6 (7)	73	72	
計	—	11 (11)	60 (66)	7 (9)	35 (41)	4 (2)	25 (25)	70	71	

() は令和元年度同月の発生件数

令和2年4月以降に発生した「派遣労働会員の業務災害（休業日数4日以上又は死亡）」、「派遣労働会員の通勤災害（休業日数4日以上又は死亡）」については、「全シ協会員専用ページ」の「シルバー派遣事業における労働災害報告」により、各月翌月最終稼働日までにご入力ください。また、労働災害（業務・通勤ともに）が発生しなかった場合も「労働災害未発生報告」を選択のうえ、各項目をご入力ください。（令和2年4月22日付 2全シ協発第12号により通知済）

★ 安全リレー ★

秋田県における安全就業の取組み

1 秋田県シルバー人材センター連合会の概要

(1) 会員センター数	22センター（うち15センターが国庫補助対象）
(2) 会員数（令和2年9月末）	7,201名（うち女性 2,027名）
(3) 粗入会率（令和2年9月末）	1.7%
(4) 派遣登録会員数（令和2年9月末）	1,540名（うち女性 489名）
(5) 就業延人員（令和元年度実績）	597,200人（請負・委任 491,327人、派遣 105,873人）
(6) 受注件数（令和元年度実績）	46,167件（請負・委任 45,344件、派遣 823件）
(7) 受注金額（令和元年度実績）	2,793,200千円 （請負・委任 2,278,427千円、派遣 514,773千円）

2. 過去5年間の事故発生状況（シルバー保険対象事故）

○傷害事故発生件数

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
就業中(件)	27	29	27	27	34
就業途上(件)	3	7	2	7	1
計(件)	30	36	29	34	35
(うち重篤事故)	0	1	0	0	0

○賠償事故発生件数

区分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対人賠償(件)	1	0	0	0	1
対物賠償(件)	23	27	30	20	29
計(件)	24	27	30	20	30

秋田県における就業上の事故発生率は、全国平均と比較し高くないものの、毎年30件前後の事故が発生しており、横ばい傾向が続いている。連合会としては、発生件数の減少に取り組んでいるものの、現状としては、発生数の減少に至っていない。

とりわけ、令和2年度は、気温が高かったこと等から、ハチ刺され被害が18件と急増し、上期だけで傷害事故が35件発生しており、事故件数が令和元年度末と同数となっている。

○型別事故発生状況

(単位：件)

項目	年度				
	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
墜落・転落	2	5	2	5	5
転倒	9	10	12	15	4
交通事故	3	1	0	1	2
蜂刺され	8	12	5	6	10
激突	0	2	0	0	2
飛来・落下	0	0	1	2	3
激突され	0	1	0	0	0
はさまれ・巻込まれ	2	0	2	1	1
切れ・こすれ	3	1	4	3	6
踏み抜き	0	0	0	0	0
噛まれ(咬まれ)	0	0	1	0	0
動作の反動・無理な動作	1	3	2	1	0
有害物等との接触	1	0	0	0	0
その他	1	1	0	0	2
合計	30	36	29	34	35

3. 具体的な安全就業推進対策

(1) 専門部会の設置と事業内容

連合会に役員を部会長とした「安全・適正就業対策部会」を設置し、県内のシルバー人材センターの事故状況等の分析と課題の把握を行い、安全就業対策について共通認識を図っている。

《安全・適正就業対策部会の活動》

- ・事故の発生状況や課題等を踏まえた安全就業対策計画の策定
- ・必要な研修計画の策定
- ・各センターに対する安全就業パトロール（部会委員と担当理事3名）の実施と、パトロール結果の検討、及び周知

(2) 安全就業推進大会の開催

毎年7月に全県のシルバー人材センター会員、職員等を対象にした「安全就業推進大会」を開催し、意識啓発に努めている。（令和2年度は中止）

(3) 安全標語の募集

安全就業意識の高揚を図るため、シルバー人材センター事業関係者だけでなく、広く県民に対し、安全標語を募集、入賞作品（最優秀賞、優秀賞、入選）を毎年10件程度選定し、安全就業推進大会で表彰している。

（令和2年度は、大会を中止したため、理事会で表彰式を実施）

(4) 会議等による指示の徹底

重篤事故に繋がりやすい高所作業（転落、落下）や、機械作業の事故防止の徹底を会議等で特に指示している。

(5) 事故情報の共有や資料の配付

就業に伴う事故は、特殊な作業環境下で発生しているわけではなく、「何時でも何処でも」各センターの就業現場で発生することを認識してもらい、また、意識啓発に向けて事故情報を共有する他、交通安全等のガイドブックなどを配付している。

《令和2年度の安全標語》

- 最優秀賞作品 立ち止まる こころのゆとり 身をまもる
- 優秀賞作品 あわてず 急がず 慎重に 必ずできるゼロ災害
- 優秀賞作品 「これくらい」 小さな手拔きが 事故のもと
- 優秀賞作品 シルバーは 無事故を目指して ワンチーム
- 優秀賞作品 しっかり点検 もれなく確認 守れば笑顔の花が咲く

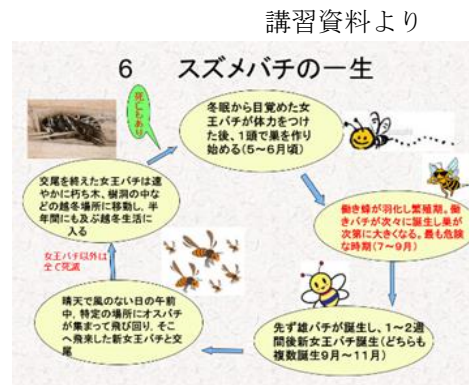
3 研修会の開催

各シルバー人材センター職員や安全就業対策部会委員等に対して、例年は7月の安全就業推進大会の開催に合わせて研修会を開催していたが、今年度はコロナ禍の影響で同大会を中止したことから、県内を3ブロックに分けて安全衛生研修を実施した。

事故防止は会員の安全意識が一番重要であることから、研修内容をより多くの会員に理解してもらうため、研修内容をDVDに編集し、各センターに配布する。

《令和2年度 安全衛生研修内容》

- ・蜂、マダニ被害の防止
- ・刈払機、チェーンソーの使用上の注意と防護服等の安全装備の説明及び作業上の留意点
- ・熱中症の防止対策
- ・脚立作業の留意点



秋田県シルバー人材センター連合会様からの報告でした。
詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

編集後記

大寒となり、一年で一番寒い時期を迎えていますが、皆様、お元気ですか。特に大雪に見舞われた地域の皆様、雪かきでの事故に十分気をつけてください。新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言が11都府県に再発令されても、人出の減少はあまり感じられず、一向に収束に向かわないため、さすがに外に出るのがちょっと怖くなっています。会議等のたびに安全就業についての注意喚起を行っていますが、今年度はここにきて、また増加傾向になっています。事故を防ぐには、「安全はすべてに優先する」「安全無くして就業なし」を合言葉に、「自分の安全は、自分で守る」という意識啓発が何より重要です。事故は「自分には関係ない」「自分は大丈夫」と思われている方はいらっしゃいませんか。自分を過信することなく、事故は誰にでも起こりうるものととらえ、細心の注意を払い、事故に遭うことがないように、皆様、年度末に向けて気を引き締めて参りましょう。

(松山)

毎年、今の時期は火災事故の発生が多くなります。火災の出火原因については、「たばこ」の不適當な場所への放置、ストーブの消し忘れなどが多いようです。また、失火の多くは、火気の取り扱いの「不注意」、「不始末」などにより発生しています。春先は特に空気が乾燥することもあり、火災が発生しやすい時季なので、十分注意が必要です。火災は多くのものを一度に失くし、人生が一変する可能性が高い恐ろしいものです。日頃から自分ができる予防を実践し、特に不注意が原因とならないように十分注意していただきたいと思います。

(笹野)

安全就業スローガン

「いつまでも 働く喜び 無事故から」

チエブクロー反射缶バッジ

安全就業グッズ、普及啓発グッズとして

■商品No.012 チエブクロー反射缶バッジ

最小製作量:100個～、100個単位

100個 本体価格:@ 490円(税別)

200個～ 本体価格:@ 390円(税別)

500個～ 本体価格:@ 300円(税別)

1000個～ 本体価格:@ 230円(税別)

サイズ:直径54mm

納期:約4週間

・クリップピン付

・OPP袋入り



絵、文字以外の地の部分が反射します。
※反射缶バッジは、背景部分が反射する為、
背景色を入れることができません。

普及啓発グッズ、名札代わりにお薦め

[お問い合わせ先 全シ協企画情報課 FAX 03-5665-8021]